

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学医学部基礎病理学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025 年 11 月

福島県立医科大学医学部基礎病理学講座 千葉 英樹

■ 研究課題名

膵がん、肝がんおよび肺がんにおけるバイオマーカーの開発

■ 研究期間

2025 年 11 月 ～ 2030 年 3 月

■ 研究の目的・意義

膵がん、肝がん、肺がんなどの難治癌においては、できるだけ患者さんに負担をかけずに早期に発見し、治療を開始する試みが長い間行われてきました。中でもがん患者さんを鑑別する目的で、血液中の腫瘍マーカーを用いた検査も臨床で広く使われていますが、すべての患者さんに対して十分な診断精度や予後予測能力をもつものはまだ見つかっていません。

そこで私たちは、がん組織に発現するタンパク質に注目しています。これまでの研究で、がん組織に含まれるタンパク質を網羅的に解析することにより、診断や予後予測、さらには治療標的となり得る候補を見いだしてきました。

本研究では、すでに収集・保存されている膵がん・肝がん・肺がんのホルマリン固定パラフィン包埋組織を用いて免疫染色を行い、これらのがんの診断マーカー、予後予測マーカー、治療標的候補となるタンパク質を探索することを目的としています。

この研究が達成され新しい画期的なタンパク質が見つかった場合、予後が悪いと予測される方に対しては積極的な治療を行い、一方で予後が良いと判断される方に対しては治療をせずに経過観察をするなど、一人一人に合わせた最適な治療法を提案することができます。

■ 研究対象となる方

① 2000 年 1 月から 2020 年 3 月の間に本学附属病院および会津医療センター附属病院において膵がん、肝がん、及び肺がんいずれかに対する手術治療が施行され、ホルマリン固定パラフィン包埋ブロックとして標本が保存されている方

② 2003 年 1 月から 2024 年 12 月の間に福島県立医科大学附属病院で病理解剖が実施され、そのホルマリン固定パラフィン包埋ブロックとして標本が保存されている方

■ 研究の方法

私たちが見つけたタンパク質に対する抗体を用い、患者さんの手術標本を染色します。その結果と、手術時の進行期や患者さんの生存期間とを照らし合わせて統計解析し、マーカーとしての有用性を検証します。また正常組織における目的分子の分布を評価するため、解剖症例の臓器を同様に染色して評価します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025 年 11 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学基礎病理学講座であり、研究責任者は基礎病理学講座 千葉英樹です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学基礎病理学講座で利用し解析を行います。

全ての既存試料・情報の提供のみを行う機関とその提供する者の氏名は次のとおりです。

機関名	所属	既存試料・情報の提供のみを行う者
竹田綜合病院	呼吸器外科	山浦 匠
公立岩瀬病院	外科	土屋 貴男
総合南東北病院	外科	寺西 寧

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部基礎病理学講座 担当：小林 靖幸

電話：024-547-1169 FAX：024-548-7151

e-mail：yasu-ko@fmu.ac.jp